

Q&A

診断に難渋した潰瘍をともなう腫瘍性病変

【問 題】

症例：53 歳，男性.

主訴：吐血.

現病歴：狭心症のためアスピリンを内服中であつた。吐血を主訴に前医を受診し，血液検査で Hb 6.5g/dL と低値であつた。上部消化管内視鏡検査を施行，噴門部に潰瘍をともなう腫瘍性病変を認めた。精査目的に当院を紹介受診した。

既往歴：十二指腸潰瘍，高血圧，高尿酸血症，2 型糖尿病.

生活歴：喫煙 10 本/日 30 年間。飲酒 機会飲酒.

家族歴：特記すべきことなし.

アレルギー：なし.

血液検査所見：WBC 6900/ μ L，Hb 12.1g/dL，Plt 36.4 万/ μ L，Alb 4.1g/dL，AST 18U/L，ALT 17U/L，LD 141U/L，Fe 47 μ g/dL，UIBC 316 μ g/dL，フェリチン 28.6ng/mL，CEA 3.7ng/mL，CA19-9 5.4U/mL，SCC 0.8ng/mL，sIL-2R 393U/mL，血清ヘリコバクター・ピロリ抗体陰性.

上部消化管内視鏡検査 (Figure 1, 2, 3) と腹部造影 CT (Figure 4) を示す.

診断は何か？

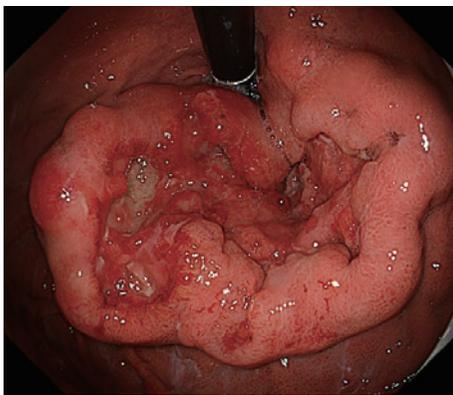


Figure 1. 上部消化管内視鏡.

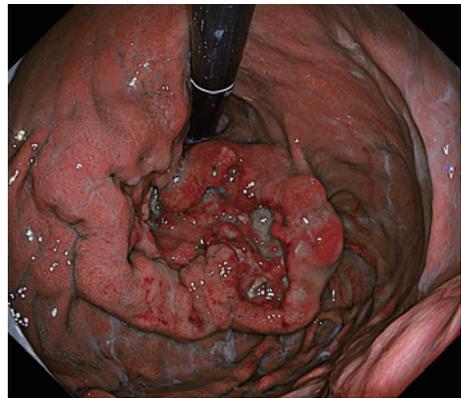


Figure 2. 上部消化管内視鏡 (構造色彩強調画像<TXI>).

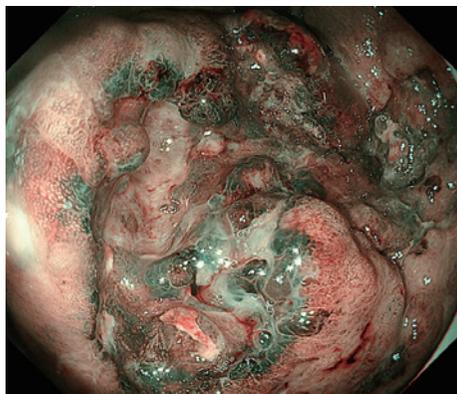


Figure 3. 上部消化管内視鏡（狭帯域光画像<NBI>）.



Figure 4. 腹部造影 CT.